

輝くひと

犬・猫の気持ちに寄り添って

NPO法人

わんにゃんレスキューOHANA

代表 松本恵美さん

皆さんは、神栖市の野良犬・野良猫の状況を知っていますか？

茨城県では、犬・猫殺処分ゼロを目指していますが、毎年多くの犬や猫が、県内の市町村から県動物指導センターに収容されています。その中でも神栖市は、市町村別の犬・猫収容頭数で上位に入っています。

神栖市からの収容数をゼロにするために、日々保護活動をしている松本さんにお話を伺いました。

きっかけ

松本さんは、8年ほど前に神栖市に引っ越してきました。以前から、他県の保護団体で子犬の預かり、譲渡をする活動をしており、神栖市には、野良犬や野良猫が多いことを仲間から聞いていました。実際引越して



なぜこの仕事か

実際の保護活動では、犬や猫の悲惨な状況を見たくないと感じるところもあります。虐待されていた犬を保護するときに、フ針も縫うけがをしたこともあり、その犬も今ではしっぽを振ってかわいさを見せてくれます。保護した犬に家族ができる、犬は自信に満ちあふれた顔になって幸せそうなんです。だから、どんなに活動が大変でも逃げられない。というより、自分が少し動けば何かが変わると思うと逆にワクワクします。このような思いが活動を続けるエネルギーになっています。

それでも、私は24時間ずっと犬と一緒にいたいタイプでもありません。一人で頑張るすぎてしまうと、どうしても活動を続けることがつらくなってしまいます。そんなときは、同じ目標を持つ仲間をお願いして、自分の好きなことをする時間を持つようにしています。息抜きや遊びも大切にしながら、自分ができる活動を続けています。



松本さんが保護した犬たち

きてみると確かに野良犬も野良猫もたくさんいました。

県のセンターには、どのような経緯で収容されたのかは分かりませんが、子犬がたくさん収容されていました。この子犬たちの母犬はどうしているのか。母犬の気持ちになり、「もし自分の子が急にいなくなったら」と考えると、いたたまれない気持ちになりました。何かできることはないかと考え、始めたのがOHANAの活動です。自分たちで捕獲から行なうなど、地域に密着した活動をするため、NPOを立ち上げました。

現在一緒に活動しているのは54人で、そのうち男性は5人で、大多数が女性ですが、イベントなどではボランティアスタッフのご家族の方も協力してくれています。

ボランティア

行政や一般の方、他団体との垣根を越え、みんなで神栖市の野良犬をゼロにしようという活動をしています。子どもを産むメス犬や子犬を捕獲し、保護してから、必要なケアを行い、譲渡につなげます。野良犬の捕獲は比較的簡単ですが、「人は怖い」と生きてきた犬を家庭に受け入れてもらえる犬にすることはとても難しいです。

活動内容

「ゼロカミ」プロジェクト

プロジェクトの活動をとおして、学校に行きたくても行くことができない子どもたちが、保護犬とのふれあいやお世話を通じて本来の自分らしさを取り戻し成長する姿を何度も目の当たりにしました。一人の人が、一匹の犬に特別に手をかけるといことは、犬にとっても人にとっても良い影響があります。

将来の目標

ゼロカミプロジェクトでは、始動から5年後の2027年には、神栖市の野良犬をゼロにするというビジョンを掲げています。

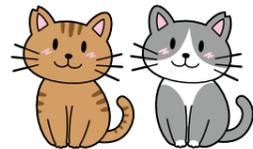
今後は、保護犬・保護猫活動と一緒に、「生きびらさ」を感じている子どもたちのお手伝いもできたらいいなと思います。フリースクール開設に向け、クラウドファンディングを開始しました。学校でも家でもない、もう一つの居場所をつくるのが今の目標です。

犬・猫の気持ちを思い、時折、涙を流しながら、インタビュアーに答える松本さんの優しい姿が印象的でした。一人の力ではできないことも、多くの方の力を借りながら一歩一歩、着実に歩んできた保護活動をたくさんの方の知ってもらい、神栖市から野良犬・野良猫をゼロにできるよっ祈っています。

野良犬は、群れでお互いを守り合って生きていて、野良犬のままでも防法では、法律上捕まえなければならず、捕獲がつかなくなる時もあります(涙)。

「100 lives for cats」猫活動

年間100頭を目標に、野良猫を捕獲し(トラップ)、不妊・去勢手術を行ない(ニューター)、元の場所に戻す(リターン)という「TNR」活動に取り組んでいます。手術を行なった印として、オス猫は右耳、メス猫は左耳を桜の花びらの形にカットし、元いた場所にに戻しています。TNRを知らない方が多いので、一人でも多くの方に知ってほしいと考えられています。



「OHANA」しっぽ研究所

学校の長期休みを利用して、子どもたちを対象に啓発活動を行っています。犬・猫も人と同じように感情があることや大切な家族であること、紙芝居の読み聞かせやゲーム、かるたで一緒に楽しく遊びながら伝えていきます。今すぐに結果が出なくても、10年後、15年後に、これらの活動を一緒にした子どもたちが大人になるころ、神栖市の現状がどのよ

うに変わっているかとても楽しみです。

ペット防災

昨年7月の総合防災訓練で初めてペット同行避難訓練が実施されました。訓練を実施すると課題がたくさん見つかりました。

例えば、避難所には、犬や猫が嫌いな人や怖いと感じる人、アレルギーを持つ人もいます。犬も猫もクレート(移動できる箱形のハウス)に入れなくてはいけません。日頃からクレートに慣れるための練習をしておくことよと思います。また、大規模な災害が起きたときは、ペット同行避難は難しくなることが予想されるので、市役所が中心となり、近隣市町村や獣医などと連携できる体制を整えておく必要があると思います。



イベントでの譲渡会の様子

みんなで考えてみよう

ピーマンタイム

クイズ

だんじょきょうどうさんかくしゃかい **男女共同参画社会って？**

男女共同参画とは、性別に関係なく、一人ひとりが自分らしさを大切にできる社会のことです。今回のピーマンタイムは3つの問題を用意しました。

問1 「男性だから●●すべきだ」「女性だから●●であるべきだ」という考えは○○○○○○○・バイアスといつて無意識の思い込みです。(ヒント：P2に出てくる言葉です)

問2 ジェンダーギャップとは、男女の違いによる格差のことを指します。2024年のジェンダーギャップ指数で日本の順位は146カ国中118位でした。女性リーダーが少ないことが原因のひとつとして考えられます。ジェンダーギャップ指数が15年連続1位の国があります。その国は北欧の島国・A○○○○○です。この国では1980年に、世界で初めて女性大統領が誕生しました。

問3 あなたは「無意識の思い込み」や「ジェンダーギャップ」についてどう思いますか？改善するためにどんなことができると思いますか？

たくさん応募してね!

★正解者全員にオリジナルふせんをプレゼント★

【引換方法】任意の用紙に ①答え ②ハートフルかみすへの意見や感想 ③氏名を記入し、市民協働課(本庁2階)へ持参

※②については、次号以降の読者の声に掲載させていただく場合があります。

【引換期間】2025年4月30日(水)まで

©神栖市

読者の声 神栖に仏像修復師という仕事をしている方がいるということに驚き、活躍されている姿に感動しました。頑張ってください。

読者の声 皆さんからいただいた前号のハートフルかみすの感想を紹介します。



バックナンバーはこちら→